

博物館活用カード

活用学年及び時代	小学校 6 年 中学校	弥生時代
活用コーナー及び資料名	川越のあけぼの（文化交流と生活） 北関東系土器、比企系土器、南関東系土器	
資料についての解説	北関東系土器…楡状器具による文様が特徴 比企系土器…上半部に縄文のあるのが特徴 南関東系土器…幾何学模様の帯が特徴	
学習内容	弥生時代の人々の暮らし（住） ・地域に特有の文化があり、川越では異なる形態の土器が見つかること、文化の交流があったと考えられること。	
〔博物館での学習〕 ①三つの土器をスケッチしましょう。 ②絵「弥生時代後期の主要遺跡」を描いてみて、気付いたことを書き出してみましょう。 ③土器の出土の分布を示したパネルを見て、考えたことを書き出しましょう。		
評価の観点	・南関東系、北関東系、比企系土器の特徴を見つけることができる。（観察） ・土器の分布図から、どんな所で発見されるか、地域には特有の文化があったこと、文化の交流が見られることなどを考えることができる。（思考・判断）	
活用のための留意事項	・ワークシートとともに教師の助言等が必要。あるいは、手がかりを得るためのヒントカードを個々に応じて配布するなど。	